

⑦仕様

ライト

型式	LB-6LE	LB-8LE
電源	DC7.4V	
蛍光管	6W 直管	8W 直管
寸法	約 370mm	約 450mm
重量	約 340g(バッテリー含む)	約 350g(バッテリー含む)
連続点灯時間	約 2.5 時間	約 2 時間
動作／保管温度	0 ~ 40°C	
付属品	ストラップ	

バッテリー

型式	LB-P
定格電圧	DC7.4V
タイプ	リチウムイオンバッテリー
充電時間	約 3 時間
寿命	充電／放電サイクル 約 500 回
重量	約 95g
指定充電器	LB-C / LB-C-DC
動作／保管温度	0 ~ 40°C ※1ヶ月以上保存する場合は、25°C を超えないようにしてください。

※本仕様は改良のため予告なく変更するところがあります。

⑧故障・修理依頼・サービス

この製品に関してご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは当社までご相談ください。

販売店

saga

保存用

ストロングライト 取扱説明書

コードレスタイプ
『LB-6L』、『LB-8L』、『LB-6LE』、『LB-8LE』

この度はストロングライトをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。
尚、この取扱説明書は、いつでも見ることのできる場所に大切に保管してください。

①取扱上の注意



注意

ライトの取扱上の注意

- 防水構造ではありませんので水につけたり、水中で使用したりすることは絶対にしないで下さい。感電等の恐れがあり、大変危険です。
- 絶対に放り投げたり、落としたりしないでください。落下等のショックにより製品が故障したり、蛍光管が破損したりすることがあります。
- 製品の改造及び蛍光管以外の部品交換は、絶対にしないでください。製品の機能の低下や故障の原因になるばかりでなく、感電等の事故の原因にもなり大変危険です。(蛍光管の交換は別途記述の手順で行ってください。)
- この製品は通常の作業環境に対応できるように設計されています。使用できる温度範囲は0°C~40°Cです。冷凍室や高温作業場等では使用できません。
- 紙や布等をかぶせて使用しないでください。製品の温度が高くなり、火災等の事故の原因となり大変危険です。
- ライト『LB-6LE』、『LB-8LE』は、外筒に耐薬品性に優れた特殊プラスチックを使用しているため、汚れた時にシンナー等で拭いても溶けたり、白くなることはありませんが、外筒以外の部分はシンナー等で拭くと溶けたり、白くなることがありますので注意してください。

バッテリーの取扱上の注意

- バッテリーの充電は専用の充電器を使用して行ってください。
- バッテリーをショートさせないでください。
- 金属物など電気を通すもので端子に触れないでください。
- 釘、コイン等の金属物の入った箱に収納しないでください。
- 金属物等電気を通すものの入ったポケット等に、バッテリーを入れて持ち運ばないでください。バッテリーがショートする恐れがあり、バッテリーの損傷、火災、重度の火傷の原因になります。
- 電池が漏液して液が目に入った時は、こすらずにすぐに水道水等のきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。適切な治療を受けないと目に障害を与える原因となります。
- 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水等のきれいな水で洗い流してください。充分に洗浄しないと皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- バッテリーを焼却しないでください。爆発する恐れがあります。

②各部の名称

ライト

LB-6L, LB-8L, LB-6LE, LB-8LE

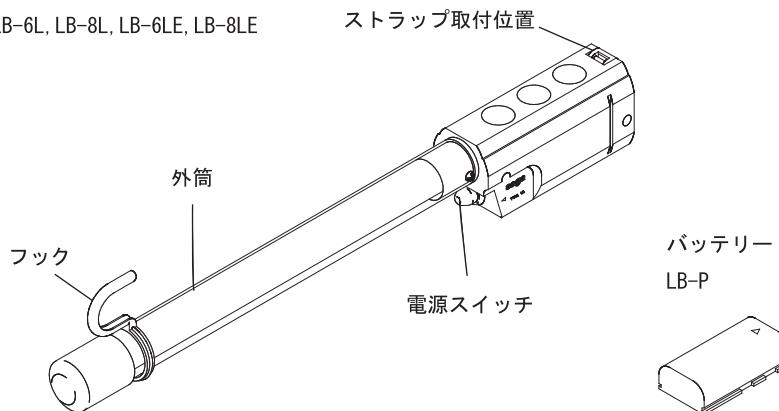


図 1. ライト本体

③使用方法

1. 図 2 のようにフタロックを外してフタをとり、満充電されたバッテリーをライト本体に差込み、再びフタをしてください。

2. 電源スイッチを押すと点灯します。

3. もう一度電源スイッチを押すと消灯します。

※ライトの使用中、バッテリーの電圧が規定値以下になると消灯します。その場合は充電するかバッテリーを交換して下さい。

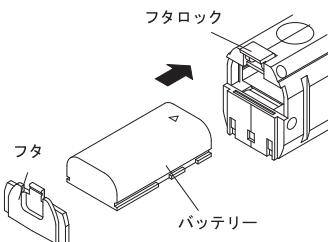


図 2. バッテリー差込方法

④蛍光管の交換方法

※蛍光管の交換をする時は、必ずバッテリーを本体から外して行ってください。

※消灯後しばらくは、蛍光管は高温ですので、十分に注意してください。

蛍光管の交換は次の手順で行ってください。

1. 外筒のネジ 2 本を外して、外筒を取り外してください。

2. 新しい蛍光管に交換してください。本体側のソケットに蛍光管を差込み、もう一方は、ソケットの側面からスライドせるように蛍光管に取付けます。

3. 外筒をネジ 2 本で止めてください。

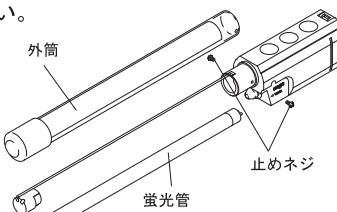


図 3. 蛍光管の交換方法

⑤バッテリーの充電方法

※バッテリーの充電には指定の充電器を使用してください。

※ライトの使用直後にバッテリーを充電する場合は約 15 分の冷却時間を設けてください。

※バッテリーをライトに差し込んだ状態でも充電可能です。その場合は、ライトの電源スイッチを切ってください。電源スイッチが入った状態では充電できません。

※ライトとバッテリーを同時に充電することはできません。

1. 充電器の電源コードをコンセント又はシガーライターソケットに差し込みます。
2. バッテリーを差し込んだライトを充電する場合は図 4 の A のように矢印の方向にライトを充電器に差し込んでください。バッテリーを充電する場合は図 4 の B のように矢印の方向に充電器に差し込んでください。

3. 充電を開始するとパイロット・ランプが点灯します。

- (1) 赤 点灯 : 充電中
- (2) 緑 点灯 : 充電完了
- (3) 赤 点滅 : 異常検出 充電中止
- (4) 無灯 : ライト及びバッテリー未装着

4. パイロット・ランプの赤が点滅する場合、

- (1) 電源の供給が正しく行われているか、確認してください。
- (2) バッテリー、ライト及び充電器の端子に汚れが付着していないことを確認してください。このとき必ず充電器の電源コードが抜いてあることを確認してから行ってください。また、バッテリー又はライトが充電器にしっかりと差し込まれていることを確認してください。

※ライトの使用直後の場合、温度が高くなっていますので、バッテリーを約 15 分間自然冷却してください。

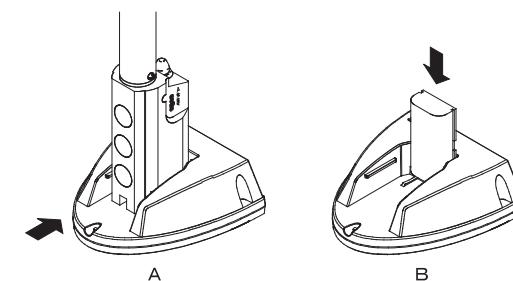


図 4. 充電方法

⑥使用済みバッテリーの処分

使用済みのバッテリーは、プラスとマイナスの端子にテープなどを貼り絶縁してから、充電式電池のリサイクル協力店にご持参ください。